



平瀬 敏明



井上 孝夫



三樹 正典

風の展覧会ー

みえる風みえない風

3つのワークショップから

7月26日～8月13日、兵庫県伊丹市立工芸センター主催による、「風の展覧会ーみえる風みえない風」が開催されました。会期中は、夏休みの子どもたちを集めて「風とあそぶ」と題して3つのワークショップをが開かれました。「風」も参加してのワークショップの様子をお届けします。

■1回目の7月29日(日)のワークショップでは、子どもたちと一緒に「とぶかたち」と題して、「風」の副代表の平瀬さんが、飛ぶ形とはどんな形なんだろうと子どもたちに考えさせてから、実際に子どもたちに「とぶかたち」を作ってもらいました。完成したら、実際に飛ばしてみます。2004年の原田の森美術館に続く2回目のワークショップですが、一緒に来ているお父さんやお母さんまでもが一生懸命作り始める光景は、前回と同じです。最後には、完成した「とぶかたち」を、子どもたちと一緒に展覧会の会場の壁に飾りました。この「とぶかたち」は、展覧会の会期中の間この場所にずっと飾られることになりました。

■2回目の8月6日(日)のワークショップは、鳥や蝶の形をした新しい凧「パイオカイトを揚げよう」です。参加してくれた子供たちと午前中は、「パイ



「オカイト」を組み立てて、午後から近くの小学校の校庭でカイト揚げをしました。「バイオカイト」は、風にすーっと乗せるようにするとよく揚がります。従来の凧と糸の引き方が逆で、ちょっとコツがいりますが、でも、慣れると、風の道に沿って驚くほど高く揚がっていきます。

■3回目の会期中の最後の8月13日(日)は、「風のコンサート／風がきこえる」です。バイオリンとピアノとチェロの三重奏。曲目は、モーツァルトのクラシック曲から「風の谷のナウシカ」まで15曲です。会場は、親子づれの方たちで一杯になりました。コンサートの後には「浜辺のうた」を会場の皆様と大合唱。その歌声は風になって会場に響き渡っていました。

■伊丹市立工芸センターの企画で、たくさん子どもたちとの無料のワークショップをすることが出来ました。本当に、ありがとうございます。

■風の展覧会ーみえる風みえない風

2006年7月26日～8月13日

主催：兵庫県伊丹市立工芸センター

企画：ギャラリー白川

協力：NPO法人風

■兵庫県伊丹市立工芸センターのご案内

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28

TEL 072-772-5557

http://mac-tami.com

■バイオカイトさんのご案内

http://www.biokite.com/

